

# HOOT

ホー

No. 113

2022 ねん 5 月号

としょかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				



はおやすみ

こんげつ もよお  
今月の催し

<p><b>ととけっこおはなし会</b> 0～3さいむけ えほん<small>て</small>と手あそび<small>かい</small>のおはなし会</p>	<p>5 月 13 日 (金) ・ 22 日 (日) 11:00～11:20 <span style="float: right;">【3F 視聴覚ホール】</span></p>
<p><b>まめまめわらべうたの会</b> あかちゃんといっしょに きせつ<small>て</small>のわらべうたであそびましょう</p>	<p>5 月 21 日 (土) 11:00～11:20 <span style="float: right;">【3F 視聴覚ホール】</span> おまめのわらべうた など</p>
<p><b>としょかんおはなし会ミニミニ</b> えほん<small>みじか</small>と手あそびの短いおはなし会</p>	<p>5 月 8 日 14:30～14:50 <span style="float: right;">【3F 視聴覚ホール】</span></p>
<p><b>子ども映画会</b></p>	<p>5月14日(土)・15日(日) 10:30～11:30 ※予約制(各回10家族) <span style="float: right;">【3F 視聴覚ホール】</span> 「おしりたんてい3 プップブラウンものがたり」(60分)</p>
<p><b>としょかんおはなし会</b> えほん<small>て</small>と手あそび<small>かい</small>のおはなし会</p>	<p>5 月 28 日 (土) 11:00～11:30 <span style="float: right;">【3F 視聴覚ホール】</span></p>
<p><b>春のおはなし会 Q</b> えほん<small>て</small>と手あそび<small>ちい</small>、小さな人形<small>にんぎょう</small>げきなど</p>	<p>5 月 1 日 (日) 11:00～11:30 <span style="float: right;">【3F 視聴覚ホール】</span> 鳥<small>とり</small>がいっぱい 春のおはなし会</p>
<p><b>春のちょこっと工作会</b> 折り紙<small>おがみ</small>でかえる<small>お</small>を折<small>お</small>りましょう</p>	<p>5 月 15 日 (日) 14:30～14:50 <span style="float: right;">【3F 集会室】</span></p>



[えほん]



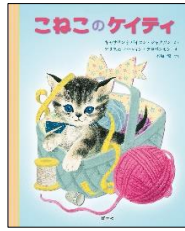
「たびするてんとうむし」

イザベル・シムレール 文・絵

石津ちひろ 訳

岩波書店 (E31タ)

たまご  
卵をうむところをさがして、たびをする  
てんとうむし。木のこえだやバラの木に  
とまるけれど、ほかの虫たちがいて…?



「こねこのケイティ」

キャサリン&パイロン・ジャクソン さく

アリス&マーティン・ブローン 文

木坂涼 やく 好学社 (E24コ)

まんまるかわいいこねこのケイティ。  
いすにとび乗ったり木にのぼったり、  
いろいろなものが気になって…?



「10びきのおばけとすすおばけ」

にしかわおさむ 作・絵

ひかりのくに (E27シ)

もり いえ  
森のそばの家にすむ、おじいさんと  
10びきのおばけと子犬。ある日お話を  
していたおばけがトンビにたのまれて  
やってきたのはすすだらけの家でした。



「ニッキーとヴィエラ」

—ホロコーストの静かな英雄と救われた少女—  
ピーター・シス 作 福本友美子 訳

BL出版 (E32ニ)

イギリス生まれのニッキーは銀行で働く男の人です。  
第二次世界大戦がはじまり、ドイツ軍から子どもたちを  
救うためにイギリスへにがしました。チェコスロバキアに  
すむユダヤ人の女の子ヴィエラは助けだされた一人です…。



「アフガニスタンのひみつのがっこう」

—ほんとうにあったおはなし—

ジャネット・ウィンター 作 福本友美子 訳

さ・え・ら書房 (E29ア)

アフガニスタンの古い町にすむナスリーン。女の子は学校に  
行ってはいけないといわれていましたが、そんな時代でも  
女の子のためのひみつの学校がありました。ナスリーンを  
学ばせようと、祖母が学校へ連れて行くと…。



「えんどうまめばあさんと

そらまめじいさんのいそがしい毎日」

松岡享子 原案・文 降矢なな 文・絵

福音館書店 (E24エ)

ちいさな家に、えんどうまめばあさんと  
そらまめじいさんが、なかよくくらして  
います。まめまめしくはたらく二人には  
ひとつだけこまったことがありました。



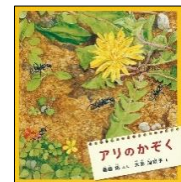
「火をぬすんだウサギ」

宇野和美 再話 パブロ・ピシク 絵

玉川大学出版部 (昔話E27ヒ)

むかしむかし、どうぶつたちがくらす  
野山で、ジャガーが火をひとりじめ  
していました。火がほしくてジャガーに  
たのみますが、わけてもらえません。

[ちしきえほん]



「アリのかぞく」

島田拓 ぶん 大島加奈子 文

福音館書店 (ちしき4 E26ア)

はる 春、クロオオアリの女王が公園の地面に  
す 巣をつくりました。卵を生んでは育て、  
家族をふやしていきます。こどもの  
はたらきアリがどんどんふえると…?

[やさしいものがたり]



「タヌキの土居くん」

富安陽子 作

福音館書店 (やさしいK913トミ)

さんかく山のふもとにある山下小学校で新しい学年が  
はじまりました。三年生になったばかりのアカネちゃんは  
学校に一番のりをしようと、早起きをします。はりきって  
登校しますが、となりの席にはすでに土居くんが座って  
います。でも、土居くんのように、いつもとちがいます。



「かあさんうさぎと金のくつ」

デュボース・ヘイワード 作

いしぞねりえ 訳 徳間書店 (やさしいK933ヘイ)

毎年イースターの日にイースターエッグをはこんで  
きてくれるイースターうさぎ。二十一ぴきのこうさぎの  
お母さんであるフワフワは小さいときから、イースター  
うさぎになりたいと思っていました。ある日、お城で  
イースターうさぎがえらばれるときいて、見に行く…

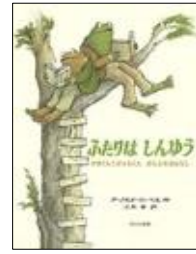


「けんかのたね」

ラッセル・ホーバン 作 小宮由 訳

岩波書店 (やさしいK933ホハ)

ある日、くたくたになって帰ってきたお父さん。  
玄関のドアをあけると、犬はねこを追いかけて  
ほえていて、部屋では四人の子どもたちが大げんか  
しています。話を聞くけれど、子どもたちは自分の  
せいじゃないと言います。何があったのでしょうか？



「ふたりはしんゆう」

ーがまくんとかえるくんぜんぶのおはなしー

アーノルド・ローベル 作 三木卓 訳

文化出版局 (やさしいK933ロへ)

がまくんとかえるくんはなかよしで、いつも一緒に  
います。なくしたボタンを一緒に探したり、水泳を  
しにいたり…。おたがいが大好きで親友のがまくんと  
かえるくんのシリーズのお話が一冊になりました。

[にほんのものがたり]



「落語少年サダキチ (よん)」

田中啓文 作

福音館書店 (K913タナ)

小学五年生の清海忠志は、名人と言われた落語家の  
笑酔亭粹梅と出会い、落語のおもしろさに目覚めた。  
夏休みに親せきの家に行く忠志だが、一緒に行く親友の  
真一は、知らないあいだに怪談断と肝試しを計画していた！  
怖いものが苦手な忠志は…。

[がいこくのものがたり]



「赤毛のアン」

L・M・モンゴメリ 作 村岡花子 訳

講談社 (K933モン)

孤児院からひきとられて、プリンスエドワード島にある  
グリーン・ゲイブルスの家へやってきたのは赤毛の女の子  
アンでした。おしゃべりで空想が大好きなアンは、  
自然あふれるグリーン・ゲイブルスに大喜びです。  
でも、本当は男の子をひきとるはずだったと知って…？



「くまのピエール」

イブ・スピング・オルセン 作  
菱木晃子 訳 こぐま社 (K949オル)

ピエールは小さなくまのぬいぐるみです。  
スティーヌという女の子の家で暮らしています。  
お手伝いをしようとしたのにスティーヌを困らせたり  
はじめて見た月をお金だと思ったり…。  
好奇心いっぱいでおとぼけ屋のくまのお話です。



「絵のない絵本」

ハンス・クリスチャン・アンデルセン 作  
大畑末吉 訳 岩波書店 (K949アン)

さびしい思いをしていた絵かきの若者は、ある夕がた、  
窓をひらくと、よく知っている顔を見ました。  
それは、なつかしい、昔ながらの月でした。その日から  
毎晩、月は若者のもとをたずねてくるたびに空から  
見てきたことを物語るのでしたー。

「ちしき」



「進化の謎をとく発生学」

田村宏治 著  
岩波書店 (K481)

動物がどのように進化を続けてきたのかについて、鳥は恐竜から進化したのか、という点に注目して  
解明していきます。



「昔の道具で郷土ごはん」

農文協 編  
農山漁村文化協会 (K383)

昔の家には、今のように便利な道具がなく、ひとつひとつ手間をかけて料理を作っていました。昔のくらしの中の道具や料理について見てみよう。



「くらべて発見野菜の「おなか」2

葉や茎を食べるやさしい

農文協 編 農山漁村文化協会 (K626)

ハクサイ、レタス、ホウレンソウなどの葉菜たちをタテやヨコにザクッと切って、「おなか」(断面)に目を向けます。外からは見えなかった発見があるかも？



「のりができるまで」

宮崎祥子 構成・文 白松清之 写真  
岩崎書店 (K619)

9月なかばごろ、のりの養しょくの一年がはじまる。水車にあみを巻いたり、のりの種をつけたり、芽を育てたり…。のりが海で育てられるようすを写真でみてみよう。



「日本酒ができるまで」

宮崎祥子 構成・文 白松清之 写真  
岩崎書店 (K619)

日本にとって特別なお酒である日本酒。お米をみがいて、酵母をふやして、蒸して…。酒蔵ではたらく蔵人たちの丁寧な作業を経て、日本酒ができるまでを写真とともに紹介します。



「漢字ハカセ、研究者になる」

笹原宏之 著  
岩波書店 (K811)

漢字ハカセと呼ばれた少年が、生活の中でなぜ漢字を好きになり、どんなきっかけで漢字を研究する道へ歩んだのか。漢字ハカセがこれまでをふり返るとともにその時代の漢字の動きについても紹介する。